

日本地質学会第120年学術大会（2013仙台大会）講演プログラム（ポスター）

■ 9月15日（日） コアタイム 13：00-14：20 C棟ポスター会場

T2. 物質科学・比較惑星地質学から解読する 太陽系と地球の進化史

T2-P-1

火星における隕石衝突津波と巨礫移動に関する数値計算. **飯嶋耕崇**・後藤和久・箕浦幸治・小松吾郎・今村文彦

T2-P-2

スロバキアKardolina 地域の三疊紀末（レーチアン）石灰岩から発見されたスフェルール層の特徴. **白水秀子**・Michalík Jozef・山下美沙・山下勝行・尾上哲治

T4. 海溝での生物と巨大地震

T4-P-1

貝化石の¹⁴C年代を用いた東海沖の海底変動履歴の解明. **矢ヶ崎一浩**・芦寿一郎・倉本真一

R3. 噴火・火山発達史

R3-P-1

流紋岩溶岩に発達する破砕性流理構造の成因. **古川邦之**・金丸龍夫・宇野康司

R3-P-2

福島県只見川流域における沼沢湖火砕流噴火後の火山砕屑物二次堆積作用とその時空間的变化. **片岡香子**・卜部厚志

R3-P-3

福島県南部白河地域、鎌房山火砕流堆積物の噴火層序とマグマ系. **長谷川 健**・松浦奈央・伴 雅雄

R3-P-4

神ノ木流紋岩下部を構成する火砕岩. **佐藤隆春**

R3-P-5

スンダ弧バリ島地域の長期火山活動史およびバツールカルデラ火山外輪山・アグン火山の形成時期の解明. **土志田 潔**・竹内晋吾・古川竜太・高田 亮・Andreastuti Supriyati・Kartadinata Nugraha・Heriwaseso Anjar・Oktory Prambada・Wahyudi Yudi

R4. 変成岩とテクトニクス

R4-P-9

スリランカ中央部に産する“arrested”チャノッカイト中に含まれるアバタイトの組成累帯構造. **山崎由貴子**・池田剛・本吉洋一・廣井美那・ブレイム バーナード

R4-P-10

東南極リュツォ・ホルム岩体オングル島のザクロ石角閃岩中にみられるコロナの微細構造. **島田麻美**・池田 剛

R4-P-11

東南極セールロンダーネ山地に分布する変成岩類の年代学的特徴および全岩化学組成. **北野一平**・小山内康人・足立達朗・中野伸彦

R4-P-12

東南極中央ドロンリングモードランドの変成年代とテレーン区分. **馬場壮太郎**・堀江憲路・外田智千・足立達朗・大和田正明

R4-P-13

U-Pb年代を解釈する：南極の高度変成岩類を例に. **外田智千**・堀江憲路

R4-P-14

黒瀬川帯に分布する各種変成岩・火成岩ブロックの年代学的特徴. **吉本 紋**・小山内康人・中野伸彦・足立達朗・米村和紘・石塚英男

R4-P-15

関東山地三波川帯のユニット境界におけるジルコンのU-Pb年代測定. **飯塚亮太**・高木秀雄・宮下 敦・石田章純・高畑直人・佐野有司

R4-P-16

四国三波川変成帯汗見川地域におけるナップ境界断層帯. **川口健太**・廣瀬丈洋

R4-P-17

四国中央部三波川帯の温度構造の再検討. **梅田隼人**・田口知樹・榎並正樹

R4-P-18

三波川帯西五良津岩体の岩相、変形と地質構造. **遠藤俊祐**・青矢陸月

R6. ジオパーク

コアタイム 13：00-14：20

会場 萩ホールエントランスロビー

R6-P-1

大学生に対する糸魚川ジオパーク認知度アンケートの結果とその利用法. **大河内春香**・**松岡 篤**

R6-P-2

地質情報の観光情報化とジオパークへの学術的サポート. **前田知行**・石川なつみ・滝 俊文・福永智恵・松本史子・池戸熙那・菊田亮太・澤畑優理恵・古川陽平・細井 淳・小沼早織・天野一男

R6-P-3

三陸ジオパーク構想における地域形成史の整理とその理解.

伊藤太久・橋本智雄・齋 宏行・永広昌之

R6-P-4

子どもを対象としたジオパーク普及と復興教育の試みー三陸ジオパーク構想の事例ー. **伊藤英之**・鈴木正貴・豊島正幸・齋 宏行

R6-P-5

箱根ジオパーク拠点施設連携事業報告ー火山実験イベントと映像教材の作製. **笠間友博**・新井田秀一・山本真土

R6-P-6

アポイ岳ジオパークにおける教育普及活動ー拠点施設ビジターセンターー. **加藤聡美**

R6-P-7

佐渡市のガイド養成と市民講座の役割. **市橋弥生**

R6-P-8

千葉県銚子地域における地質資源の利用ー「銚子石」と「銚子瓦」. **赤司卓也**・**高橋直樹**

R6-P-9

南紀熊野ジオパーク構想地域のジオサイト候補地（地質学分野）. **田原敬治**・鈴木博之

R6-P-10

東紀州ジオパーク構想. **津村善博**

R7. 地域間層序対比と年代層序スケール

R7-P-1

房総半島南端に分布する千倉層群において2.31Ma付近に発見された地磁気エクスカージョン. **丸岡 亨**・岡田 誠

R7-P-2

房総半島南端千倉層群細層上部における酸素同位体層序. **古川陽平**・岡田 誠

R9. 堆積物（岩）の起源・組織・組成

R9-P-1

大型砂岩試料の粒子方位解析手法の開発. **宮田雄一郎**・下梶秀則

R9-P-2

堆積物・堆積岩の源岩推定に対する γ 線スペクトロメトリの適用性. **片岡達也**・竹内 誠・田中 剛

R9-P-3

富草層群に産する燐酸塩ノジュールの燐灰石硫酸黄同位体比.

森清寿郎

R9-P-4

東北日本・北部北上帯付加体砂岩における長石の曹長石化.

渡邊寛也・石渡 明

R9-P-5

石英粒子のカソード・ルミネッセンス特性による源岩の判別方法の提示. **中山 歩**・太田 亨

R9-P-6

西南日本におけるベルム紀砂岩中の砕屑性ザクロ石の化学組成と光学的性質からみた後背地の変遷. **大川真弘**・竹内 誠・松澤 希

R9-P-7

神奈川県北西部、上部中新統愛川層群中津峡層の砕屑岩類.

河尻清和

R9-P-8

東アジア大陸における下部白亜系の後背地風化過程と古気候帯の復元. **田中聡之**・太田 亨・平野弘道・坂井 卓・香西武・Li Gang

R9-P-9

岐阜県土岐市土岐口陶土層の古土壌を用いた古環境復元. **葉田野 希**・**吉田孝紀**

R12. 石油・石炭地質学と有機地球化学

R12-P-1

下北半島沖三陸沖堆積盆地の熟物性と水理特性の特徴. **谷川 亘**・多田井 修・森田澄人・村山雅史・稲垣史生・Hinrichs Kai-Uwe・久保雄介・IODP Expedition 337 Scientific Party

※講演番号は、トピックセッション（T）、レギュラーセッション（R）、アウトリーチセッション（OR）のそれぞれに、ポスター（P）の記号と各セッション内での通し番号を付与しています。
※講演要旨とプログラムとで発表題目や著者氏名が異なっている場合、講演要旨を正しいものとします。太字は、代表発表者です。※★印はハイライトです。本誌 p. (11) 参照。

日本地質学会第120年学術大会（2013仙台大会）講演プログラム（ポスター）

■ 9月15日（日） コアタイム 13：00-14：20 C棟ポスター会場

R12-P-2

北海道勇払油ガス田の滝の上層火砕岩“T1層”から産出した炭酸塩鉱物。 **大久保 進**・杉山 裕

R14. 沈み込み帯・陸上付加体

R14-P-1

JFAST掘削孔近傍における地下構造調査-KR13-01航海の結果から。 **中村恭之**・小平秀一・山本揚二郎・三浦誠一・尾鼻浩一郎・藤江 剛・Cook Becky・Conin Marianne・Mori James・Chester Frederick・江口暢久・Toczko Sean・第343次航海乗船研究者

R14-P-2

地形から見た日本海溝における底部有効摩擦と流体圧比の検討。 **高下裕章**・富士原敏也・小平秀一・佐々木智之・亀田純・浜橋真理・濱田洋平・木村 学

R14-P-3

遠洋性粘土層の鉱物組成からみる日本海溝プレート境界断層の発達過程。 **亀田 純**・清水麻由子・木村 学

R14-P-4

コスタリカ沖沈み込み帯の斜面堆積物の岩石物性と微細組織。 **浜橋真理**・統合国際深海掘削計画（IODP）第344次航海乗船研究者一同

R14-P-5

海洋プレート上の珪質・石灰質軟泥の摩擦特性：IODP Exp.334で採取されたコスタリカ沖ココスプレート上の堆積物の例に。 **並木由香**・堤 昭人・亀田 純・氏家恒太郎

R14-P-6

回転式中一高速剪断摩擦試験機を用いた実験による速度状態依存摩擦則パラメータの推定：南海トラフおよびコスタリカ沖沈み込み帯物質を用いた解析例。 **中野龍二**・堤 昭人・並木由香

R14-P-7

炭質物結晶化度が安定状態に達するタイムスケールと温度の検証：広域変成帯、接触変成帯、断層帯の例。 **瀧瀬佑衣**・森宏・森 なつみ・梅田隼人・ウォリス サイモン・榎並正樹

R14-P-8

四万白亜系四十帯整然相中の炭質物濃集層における断層発熱履歴。 **森田清彦**・橋本善孝・廣瀬文洋・北村真奈美

R14-P-9

台湾集集地震断層における古応力の絶対値化。 **戸部航太**・橋本善孝・中屋太一・葉 恩肇

R14-P-10

Geologic ages of the NanTroSEIZE cores based on calcareous nannofossils and correlation of the Neogene and Quaternary strata from the Kumano Forearc to the Shikoku Basins。 **亀尾浩司**・千代延 俊・統合国際深海掘削計画338次研究航海研究者一同

R14-P-11

四万十帯上部白亜系から得られた微化石年代と碎屑性ジルコンU-Pb年代の比較-紀伊半島東部の例-。 **中江 訓**

R14-P-12

岐阜県谷汲地域に産する美濃帯緑色岩の産状、地球化学的性質及びその起源：舟伏山・久瀬川ユニットでの違い。 **久保田 将**

R19. 環境地質

R19-P-1

放射性物質の移動挙動評価に係る森林における長期モニタリング。 **阿部寛信**・新里忠史・渡辺貴善・竹内竜史・安江健一

R19-P-2

仙台平野海岸部における津波被害と液状化被害の識別。 **川辺孝幸**・志岐常正・風岡 修（※復旧復興にかかる調査・研究事業報告）

R19-P-3

富山県射水市放生津潟における底生有孔虫を用いた津波堆積物の検出。 **矢野さおり**・竹内 章

R19-P-4★

東京湾岸埋立地地下ボーリングコアの塩化物イオン濃度（千葉県浦安市）。 **吉田 剛**・栗原正憲・風岡 修

R19-P-5

長崎県壱岐周辺海域の海砂と壱岐海岸砂の組成比較。 **真田万里子**・**井内美郎**・岩本直哉・中村祐貴

R20. 応用地質学一般およびノンテクトニック構造

R20-P-1

東道後温泉組成の時系列変化—地殻変動との対応関係の検討。

日野愛奈・佐野 栄・堀 利栄

R20-P-2

岩盤の劣化と段丘形成過程の関係。 **大河内 誠**

R20-P-3

神奈川県鎌倉由比ヶ浜地域のイベント堆積物と砂丘砂の比較−粒度と構成物。 **藤本光一郎**・山口麻衣・萬年一剛・松島義章

R20-P-4

岐阜福井県境、能郷白山花崗閃緑岩分布域における山体重力変形地形と地質構造の関係。 **岩本直也**・小嶋 智・金田平太郎・大谷具幸

R20-P-5

風化や環境変化による地盤の膨張について。 **大山隆弘**

R20-P-6

風化作用による岩石の体積膨張—東通原子力発電所の例—。

鳥越祐司・三和 公・中田英二・千木良雅弘

R23. 地球史

R23-P-1

ベルム紀／三疊紀境界の完全連続深海層序の復元と黄鉄鉱を用いた海洋環境の解明。 **水谷 茜**・高橋 聡・石田 潤・多田隆治・山本信治・池田昌之・尾崎和海

R23-P-2

地球最古の表成岩帯である初期太古代Nulliak表成岩帯のBIFの地質学的・地球化学的研究。 **青木翔吾**・下條将徳・山本伸次・平田岳史・小宮 剛

R23-P-3

南中国三峽地域、初期カンブリア紀と初期-中期カンブリア紀の掘削試料の岩相層序。 **土谷祐貴**

R23-P-4

カナダ、ブリティッシュコロンビア州、ウィリントン湖周辺に分布する上部三疊系石灰岩の岩相。 **富永隆志**・Zonneveld John-Paul・Orchard Michael J.・佐藤峰南・尾上哲治

R23-P-5

沖縄県辺戸岬に分布する上部三疊系石灰岩から産出したコノドント化石。 **山下大輔**・安田知佳・尾上哲治

R23-P-6

南部北上帯中部ベルム系岩井崎石灰岩の詳細層序。 **林 隆太郎**・磯崎行雄・可児智美

R23-P-7

北海道中軸部蝦夷層群における下部白亜系放射虫化石層序。

小安浩理・鈴木紀毅・西 弘嗣・高嶋礼詩

R23-P-8

地質年代区分2012。 **鈴木寿志**

R23-P-9

北海道の白亜系蝦夷層群における凝灰岩層の広域対比。 **桑原里**・高嶋礼詩・西 弘嗣・林 圭一

R24. 原子力と地質科学

R24-P-1

山陽帯東部、江若花崗岩体とドレライト岩脈のK-Ar年代。

梅田浩司

R24-P-2

原子力機構東濃地科学センターJAEA-AMS-TONOによる放射性炭素年代測定とその断層調査への適用。 國分（齋藤）陽子・安江健一・丹羽正和・松原章浩・梅田浩司・**石丸恒存**・島田耕史・立石 良

R24-P-3

花崗岩中に発達する断層ガウジと粘土脈。 **丹羽正和**・島田耕史・中村 克・安江健一・石丸恒存・梅田浩司

R24-P-4

敦賀半島北部に分布する河成段丘の編年。 **安江健一**・島田耕史・佐々木亮道・田中遊雲・丹羽正和・石丸恒存・梅田浩司・立石 良・小坂英輝

R24-P-5

福島第一原発による放射能汚染の分布—宮城県における低線量汚染の実態について—。 **南部拓未**

※講演番号は、トピックセッション（T）、レギュラーセッション（R）、アウトリーチセッション（OR）のそれぞれに、ポスター（P）の記号と各セッション内での通し番号を付与しています。 ※講演要旨とプログラムとで発表題目や著者氏名が異なっている場合、講演要旨を正しいものとします。太字は、代表発表者です。 ※★印はハイライトです。本誌 p. (11) 参照。